

松が谷 高等学校 令和6年度（1学年用） 教科 国語 科目 現代の国語

教科：国語 科目：現代の国語

単位数：2 単位

対象学年組：第 1 学年 1 組～ 9 組

教科担当者：（1組 土淵）（2組 土淵）（3組 土淵）（4組 都築）（5組 都築）（6組 都築）（7組 土淵）（8組 谷崎）（9組 谷崎）

使用教科書：（「探求 現代の国語」（桐原書店））

教科 国語 の目標：

【知識及び技能】実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

科目 現代の国語 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
			話・聞	書	読					
1 学 期	1. 「ふしぎと人生」 河合隼雄 【知識及び技能】 語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 【思考力・判断力・表現力等】 内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 【学びに向かう力・人間性】 「ふしぎ」という思いから主体的に考えを深めていくことの大切さを理解する。	・随想の基本的な読み方を習得する。 ・二項対立的な内容を把握しながら、全体の構成を的確に捉える。 ・具体例が示しているものを丁寧に読み取り、筆者の主張を理解する。 ・「自然科学」的な見方と「物語」的な見方の意義について、自分との関わりの中で考察する。 ・「物語」についての筆者の捉え方に対して、自分の考えをまとめる。	○		○	・「ところが」「しかし」など、逆接の接続語の働きを正確に理解している。 ・同音異義語について、意味の違いを理解し、使い分けができる。 ・対比や相互関係に着目して読み取り、筆者の主張を理解している。 ・「物語」についての筆者の捉え方に対する自分の考えをまとめ、それを支える適切な話題を設定し、表現に工夫をできる。 ・「ふしぎだな」という思いや、それに対する答えの出し方について考えることで、教材の内容への関心を高めている。 ・「自然科学」と「物語」の双方について、自分なりにその意義を考えている。	○	○	○	7
	定期考査						○	○	○	
	2. 「サイボーグとクローン人間」 山崎正和 【知識及び技能】 語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 【思考力・判断力・表現力等】 文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、文章の構成や論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 【学びに向かう力・人間性】 情報と情報を対比させながら展開する評論を粘り強く読み、学習課題に沿って論理の展開を分析する。	・常用漢字を文や文章の中で活用する。 ・評論の読み方を習得する。 ・二項対立による比較対照に着目し、筆者の主張を的確に捉える。 ・「サイボーグとクローン人間」という話題を通して、現代の科学や社会のあり方について自分の考えを深める。 ・サイボーグやクローン人間のように科学技術の発展が人の考え方に影響を及ぼした例を考え、文章にまとめる。			○	・本文中の難解な語句や表現を国語辞典などを用いて調べている。 ・接続語の働きに注意して、比較対照されている内容を正確に理解している。 ・本文の記述と、写真や年表との対応関係を理解している。 ・「感情の砂漠」「この二元論」「『危険』な好奇心」「安全な良識」など、注意を要する表現を正確に理解している。 ・サイボーグとクローン人間の違いについて、「製作法」「人々の反応」「人間の考え方や生き方への影響」の三点から的確に捉えている。 ・本文の内容を参考に科学技術の発展が人の考え方に影響を及ぼした例を自分なりに考えまとめることができる。	○	○	○	8
	定期考査						○	○	○	
	3. 「経済の論理／環境の倫理」 岩井克人 【知識及び技能】 語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 【思考力・判断力・表現力等】 文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、文章の構成や論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 【学びに向かう力・人間性】 環境問題の原因と解決策を考える。	・常用漢字を文や文章の中で活用する。 ・評論の読み方を習得する。 ・論理の展開に着目して、筆者の主張を的確に捉える。 ・「未来世代」と「現在世代」との利害対立という観点から、環境問題に対して認識を深める。 ・本文発表後の地球温暖化防止をめぐる最新の世界情勢を調べたうえで、環境問題の現状や展望について考察し、意見を述べ合う。	○		○	・本文中の難解な語句や表現を国語辞典などを用いて調べている。 ・「言い換えれば」「しかし」など、接続語の働きを正確に理解している。 ・「倫理」「信任」など、キーワードの意味を正確に理解している。 ・「倫理」を意識しながら、全体の構成を的確に把握している。 ・経済学の基本的な考え方、環境問題に対する一般常識と経済学との考え方の違いを理解できる。 ・環境問題の原因と解決策を考えることで、教材の内容への関心を高めている。 ・本文発表後の地球温暖化防止をめぐる最新の世界情勢を調べ、自ら問題点を見つけ、その解決策を考えている。	○	○	○	8
	定期考査						○	○	○	

2 学 期	4. 「わかれとうとする姿勢」 鷺田清一 【知識及び技能】 語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 【思考力・判断力・表現力等】 文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、文章の構成や論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 【学びに向かう力・人間性】 本文中の具体例を通して、「わかれとうとする姿勢」とは何かを考えている。	・常用漢字を文や文章ので活用する。 ・評論の読み方を習得する。 ・具体例を丁寧に読み取りながら論理の展開を把握し、筆者の主張を的確に捉える。 ・「他者理解」というテーマについて、筆者の主張を読み取ったうえで、自分の考えを深める。	○	・本文中の難解な語句や表現を国語辞典などを用いて調べている。 ・「全人的理解」「〈主体－客体〉の関係」「この非対称」など、注意を要する表現を理解している。 ・「他者の理解」において大切なことは何かを的確に読み取っている。 ・「他者の理解」に向かう姿勢についての筆者の主張を読み取ったうえで、それに対する自分の考えを持ち、その考えを例を挙げながら説明している。 ・「わかる」という言葉の意味を確認することから、教材の内容への関心を高めている。 ・本文中の具体例を通して、「わかれとうとする姿勢」とは何かを考えている。	○	○	○	8
	5. 「白い蛾」 安部公房 【知識及び技能】 語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 【思考力・判断力・表現力等】 文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、文章の構成や論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 【学びに向かう力・人間性】 安部公房とその作品について調べるなどして、教材への関心を高めている。 安部公房の他の作品を読むなどして、作者への理解を深めている。	・登場人物の心の動きに注意して、作品の主題について考察し、人間のあり方に対する考えを深める。 ・鷺田清一「わかれとうとする姿勢」で述べられた「他者の理解」について、本作品の中で「わかれとうとする姿勢」の実際とその効果を確認する。	○	・小説の基本的な読み方を習得する。 ・情景、心情などを表現に即して丁寧に読み取ることによって、登場人物の中で生じた変化の様子を捉える。 ・作品構造において、各登場人物に与えられた役割について理解する。 ・鷺田清一「わかれとうとする姿勢」で述べられた「他者の理解」について、本作品の中で「わかれとうとする姿勢」の実際とその効果を確認することを通じて考察を深める。	○	○	○	2
	定期考査				○	○	○	
3 学 期	6. 「言葉を学ぶとは―『言語ゲーム』の概念」 高田明典 【知識及び技能】 語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 【思考力・判断力・表現力等】 文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、文章の構成や論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 【学びに向かう力・人間性】 言葉を用いる主体としてのあるべき姿勢について、自分なりに考えている。	・常用漢字を文や文章ので活用する。 ・評論の読み方を習得する。 ・比喩表現が指す内容を正確に押さえ、筆者の主張を把握する。 ・「言葉を学ぶ」ことの意味を、「言語ゲーム」の概念を通じて理解する。 ・言葉を用いる主体としてのあり方について、考えを深める。	○	・本文中の難解な語句や表現を国語辞典などを用いて調べている。 ・本文中の比喩表現が指すものを理解している。 ・本文の内容の中心となる、ウィトゲンシュタインの「言語ゲーム」の概念について、正しく理解している。 ・「言語ゲーム」の考え方において、「言葉の意味」や「言葉を理解する」とはどういうことを指すのか、理解している。 ・「言葉を学ぶとは」の問いに対する答えを、本文全体を通じてまとめることができる。 ・言葉を用いる主体としてのあるべき姿勢について、筆者の主張を読み取っている。 ・言葉を用いる主体としてのあるべき姿勢について、自分なりに考え意見を述べることができる。	○	○	○	8
	7. 「庭」 山本文緒 【知識及び技能】 語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 【思考力・判断力・表現力等】 文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、文章の構成や論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 【学びに向かう力・人間性】 山本文緒とその作品について調べるなどして、教材への関心を高めている。 山本文緒の他の作品を読むなどして、作者への理解を深めている。	・登場人物の心の動きに注意して、作品の主題について考察し、家族や人間どうしのつながりに対する考えを深める。 ・高田明典「言葉を学ぶとは―『言語ゲーム』の概念」で述べられた「言葉をめぐる『シナリオ』」について、本作品の中での「シナリオ」の働きや変化の様子を確認する。	○	・小説の基本的な読み方を習得する。 ・情景、心情などを表現に即して丁寧に読み取ることによって、登場人物や登場人物どうしの関係性に変化が生じる様子をつかめる。 ・登場人物どうしの関係性を象徴するモチーフの働きを理解する。 ・高田明典「言葉を学ぶとは―『言語ゲーム』の概念」で述べられた「言葉をめぐる『シナリオ』」について、本作品の中での「シナリオ」の働きや変化の様子を確認することを通じて考察を深める。	○			2
								合計
								43

松が谷 高等学校 令和6年度（1学年用） 教科 国語 科目 言語文化

教科：国語 科目：言語文化 単位数：2 単位
 対象学年組：第 1 学年 1 組～ 9 組
 教科担当者：（1組 都築）（2組 都築）（3組 都築）（4組 谷崎）（5組 谷崎）（6組 土淵）（7組 土淵）（8組 土淵）（9組 土淵）
 使用教科書：（「探究 言語文化」（桐原書店））
 教科 国語 の目標：

- 【知識及び技能】生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解
 【思考力、判断力、表現力等】論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力
 【学びに向かう力、人間性等】言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配 当 時 数	
			話・ 聞	書	読						
	1. 古典と文化・古文と古語 児のそら寝 【知識及び技能】 我が国の言語文化に特徴的な語句・語彙の文化的背景を理解し、語感を磨き語彙を豊かにする。我が国の言語文化の特質について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 古典の文章に慣れるとともに、説話という文章の種類を知り、内容を把握する。 【学びに向かう力、人間性等】 現代語訳に取り組み、説話の内容を理解しようとしている。	・古文を学習する意義を理解し、古文や古文に描かれた世界に関心を持つ。 ・古語と現代語の違いを理解する。 ・句読点に注意しながら、正しく音読する。 ・歴史的仮名遣いを理解する。 ・傍訳と脚注を参考にしながら、本文の内容を正しく理解する。 ・児の心情を的確に読み取り、この話のおもしろさを理解する。	○		○	・歴史的仮名遣いを理解したうえで、本文を正しく音読している。 ・古語辞典の使い方を理解している。 ・重要古語の意味を理解している。 ・傍訳と脚注を参照しながら、僧たちの一連の行動、児の心理の推移などの内容を理解している。 ・児のそら寝」の話のおもしろさについて考え、自分の意見を述べている。 ・範読を参考にして、積極的に音読している。 ・現代語にはない語や、現代語とは意味の異なる語の意味を、古語辞典を用いて調べている。 ・現代語訳に取り組み、説話の内容を理解しようとしている。 ・この話のおもしろさについて、周りの意見に耳を傾けながら積極的に話し合っている。		○	○	○	5
	2. 羅生門 芥川龍之介 【知識及び技能】 語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 【思考力、判断力、表現力等】 作品を読んで感じたことを文章にまとめる。 作品の概要を発表用スライドにまとめ、発表する。 【学びに向かう力、人間性等】 芥川龍之介とその作品について知っていることを発表するなどして、教材への関心を高めている。	・話の展開や主題の把握など、小説を読む基本的な方法を習得する。 ・登場人物の心理や行動の意味を、表現に即して的確に読み取る。 ・結末部分の改稿について考察し、表現上の効果の違いを捉える。	○		○	・全文を正しく音読している。 ・老婆に対する比喩表現など、特色ある表現の意味と効果を理解している。 ・芥川龍之介の他の作品を読むなどして、作者への理解を深めている。 ・冒頭部分から作品の舞台背景を的確に捉えている。 ・下人の境遇や人物像を把握している。 ・下人の心理と行動の変化を的確に読み取っている。 ・老婆との会話によって下人の考えがどう変化したか理解している。 ・作品の主題について考察している。 ・結末部分について改稿前と改稿後を読み比べ、読後の印象の違いについて、自分の考えをまとめている。 ・文中の難解な語句や表現を国語辞典などを用いて調べている。 ・芥川龍之介とその作品について知っていることを発表するなどして、教材への関心を高めている。 ・下人の生き方から、人間の生き方への認識を深めようとしている。		○	○	○	5
	定期考査							○	○	○	

1 学 期	3. 大江山 【知識及び技能】 我が国の言語文化に特徴的な語句・語彙の文化的背景を理解し、語感を磨き語彙を豊かにする我が国の言語文化の特質について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 古典の文章に慣れるとともに、古文における人物造形のおもしろさを読み取る。 【学びに向かう力、人間性等】 現代語訳に取り組み、説話の内容を理解しようとしている。	・正しく音読し、現代語訳ができるようにする。 ・形容詞の活用など、古典文法の基礎を理解する。 ・和歌の修辞技法を理解する。 ・登場人物の関係性を把握する。 ・筆者が示している教訓を的確にとらえ、この話のおもしろさを理解する。	○	・言葉のまとまりを的確に押さえて、歴史的仮名遣いに注意しながら正しく音読している。 ・重要古語の意味を理解している。 ・形容詞の活用などの文法事項を理解している。 ・和歌の修辞技法（掛詞）について理解している。 ・和泉式部と小式部内侍について文学史的知識を持っている。 ・脚注を参照しながら、話の展開を理解している。 ・古語の意味を理解し、主語を明らかにしながら、正確に現代語訳している。 ・この話を通して作者が伝えようとしていることを考え、自分の意見を述べている。 ・範読を参考にして、積極的に音読している。 ・現代語にはない語や、現代語とは意味の異なる語の意味を、古語辞典を用いて調べている。 ・脚注を参考にしながら、和歌を含む説話の内容を積極的に理解しようとしている。 ・和泉式部、小式部内侍、歌合、局、丹後、返歌について関心を持ち、調べている。 ・この話が示している教訓について、周りの意見に耳を傾けながら積極的に話し合っている。	○	○	○	6
	4. 漢文の基礎・推敲 【知識及び技能】 漢文を読むための基礎知識を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 古典特有の世界観に慣れるとともに、千年以上前に作られた物語が現代まで継承されていることを知る。 【学びに向かう力、人間性等】 返り点や書き下し文の決まりに則って、漢文を書き下し文に改める練習を繰り返し行っている。	漢文を学習する意義を認識する。 ・漢文の構造と訓読の方法について理解する。 ・漢語の構造に日本文と語順が同じものと語順が異なるものがあることを理解する。 ・漢文訓読によって出来上がる「漢文脈」について認識する」 ・頻出する漢文の基本構造について理解する。 ・音読を繰り返して訓読に慣れる。 ・「推敲」という言葉の意味と由来を理解する。 ・登場人物や時代背景に注意しながら内容を理解する。	○ ○	・送り仮名の原則や主な返り点の決まりについて理解している。 ・書き下し文の決まりや置き字について理解している。 ・漢文特有の構造について理解している。 ・漢文に特有の語や、否定形の句形について、その読みと意味を理解している。 ・話の背景にある科举制度の概要や当時の詩の役割を理解している。 ・「推敲」という言葉の意味と由来を理解している。 ・書き下し文を参照しながら、漢文を正しく音読している。 ・訓点に従い、置き字や再読文字、返読文字の用法に注意しながら、漢文を正しく書き下し文に改めている。 ・漢字の読みや訓読の決まりに注意して、正しく訓読している。 ・脚注を参照しながら、本文を正確に現代語訳している。 ・場面と登場人物の言動をを整理しながら韓愈の心情を想像し、自分の考えを述べている。 ・返り点や書き下し文の決まりに則って、漢文を書き下し文に改める練習を繰り返し行っている。 ・範読を参考にして、積極的に音読している。 ・「推敲」という言葉の意味と由来を漢和辞典を用いて調べている。 ・韓愈の心情について、周りの意見に耳を傾けながら積極的に話し合っている。	○	○	○	6
	5. 徒然草 【知識及び技能】 我が国の言語文化に特徴的な語句・語彙の文化的背景を理解し、語感を磨き語彙を豊かにする我が国の言語文化の特質について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 古典の文章に慣れるとともに、古文における人物造形のおもしろさを読み取る。 【学びに向かう力、人間性等】 当時の思想背景としての「無常観」について調べ、理解しようとしている。	・正しく音読し、傍訳と語注を参考にして現代語訳ができるようにする。 ・助動詞・助動詞など、古典文法の基礎を理解する。 ・観念性・抽象性の高い文章の内容を、構成や展開に即して的確に捉える。 ・随筆の主題を理解し、時代背景や当時の価値観を読み取る。 ・和文体・和漢混淆文体・説話体の文体の違いを理解し、優れた表現を味わう。 ・登場人物の行動や心情、または作者の考えなどを的確に捉え、各章段のおもしろさを理解する。	○	・言葉のまとまりを的確に押さえて、全文を正しく音読している。 ・重要古語の意味を理解している。 ・助動詞「む」「べし」「ず」「き」「けり」「たり」、助詞「ばや」「で」「かな」「もがな」について、基本的な意味・用法を理解している。 ・係り結びや反語表現などの文法事項を理解している。 ・兼好法師と「徒然草」について、文学史的知識を身につけている。 ・脚注を参照しながら、本文を正確に現代語訳している。 ・係り結びや反語表現などに現れている作者の思想や感情を、的確に読み取っている。 ・本文に表れている作者の心境について考え、自分の意見を述べている。 ・範読を参考にして、積極的に音読している。 ・重要古語の意味を古語辞典を用いて調べている。 ・周りの意見に耳を傾けながら、積極的に話し合っている。 ・当時の思想背景としての「無常観」について調べ、理解しようとしている。 ・兼好法師と「徒然草」について、文学史的事項を調べたり発表したりしている。	○	○	○	5
定期考査					○	○	○	

6. 伊勢物語 【知識及び技能】 我が国の言語文化に特徴的な語句・語彙の文化的背景を理解し、語感を磨き語彙を豊かにする我が国の言語文化の特質について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 古典の文章に慣れるとともに、古文における人物造形のおもしろさを読み取る。 【学びに向かう力、人間性等】 「伊勢物語」全体の構成・内容について関心を持ち、調べている。	・正しく音読し、語注を参考にして現代語訳ができるようにする。 ・助詞や助動詞など文法事項への理解を深め、古文の内容を正確に把握する力を養う。 ・敬語表現の概要について理解する。 ・和歌の修辞技法への理解を深める。 ・歌物語における和歌の役割を理解する。 ・本文の展開や和歌の解釈に留意して内容を理解し、当時の社会のありさまや登場人物の心情を捉える。 ・登場人物の行動やその背景にある心情について、自分の考えを発表したり文章で表現したりできるようにする。	○	○	・全文を正しく音読している。 ・重要古語の意味を理解している。 ・助動詞「らむ」、助詞「さへ」「こそ」「ものを」「して」「だに」「てしがな」、「なむ」「し」「に」の識別、呼応の副詞などについて、基本的な文法事項を理解している。 ・歌物語における和歌の役割を理解している。 ・和歌の修辞技法（序詞・掛詞・縁語・折り句）を理解している。 ・「伊勢物語」について、文学史的知識を身につけている。 ・脚注を参照しながら、本文を正確に現代語訳している。 ・登場人物の関係や物語の展開に注意し、内容を正確に読み取っている。 ・「男」の心理の推移の描写を丁寧にたどり、その心情を口語自由詩の形式で表現している。 ・「男」の心理の推移の旅の進行に対応させて理解し、その心情を工夫しながら日記として表現している。 ・範読を参考にして、積極的に音読している。 ・重要古語の意味を古語辞典を用いて調べている。 ・周りの意見に耳を傾けながら、積極的に話し合っている。 ・「伊勢物語」全体の構成・内容について関心を持ち、調べている。 ・歌物語の系統を引く作品に関心を持ち、調べたり読んだりしている。	○	○	○	7
7. 塞翁馬 【知識及び技能】 漢文を読むための基礎知識を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 古典特有の世界観に慣れるとともに、千年以上前に作られた物語が現代まで継承されていることを知る。 【学びに向かう力、人間性等】 返り点や書き下し文の決まりに則って、漢文を書き下し文に改める練習を繰り返し行っている。	・音読を繰り返して訓読に慣れる。 ・話の構成を理解し、事件の経過を正確に読み取る。 ・指示語を具体化しながらわかりやすく現代語訳する。 ・故事成語への理解を深める。 ・登場人物の考え方を理解し、その考え方を現代の世界においてどのように生かすことができるか、具体的に述べることができる。	○	○	・漢文に特有の語や、反語形・否定形の句形について、その読みと意味を理解している。また、漢文に特有の構文について理解している。 ・「塞翁が馬」「蛇足」「登竜門」「画竜点睛」「杞憂」という言葉の意味と由来を理解している。 ・漢字の読みや訓読の決まりに注意して、正しく訓読している。 ・脚注を参照しながら、本文を正確に現代語訳している。 ・塞翁の身に起きた出来事と、塞翁が禍福において動じなかった理由を的確に捉えている。 ・塞翁の考え方を的確に理解し、その考え方を現代の世界においてどのように生かすことができるか、具体例を挙げながら文章にまとめている。 ・範読を参考にして、積極的に音読している。 ・本文中の語句の意味を漢和辞典を用いて調べている。 ・「塞翁が馬」「蛇足」「登竜門」「画竜点睛」「杞憂」の意味と由来を漢和辞典で調べ、故事成語への理解を深めている。 ・返り点や書き下し文の決まりに則って、漢文を書き下し文に改める練習を繰り返し行っている。	○	○	○	6
定期考査					○	○	○	

8. 土佐日記 【知識及び技能】 我が国の言語文化に特徴的な語句・語彙の文化的背景を理解し、語感を磨き語彙を豊かにする我が国の言語文化の特質について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 古典の文章に慣れるとともに、古文における人物造形のおもしろさを読み取る。 【学びに向かう力、人間性等】 紀貫之と「土佐日記」について、文学史の事項を調べたり発表したりしている。	・正しく音読し、語注を参考にして現代語訳ができるようにする。 ・助動詞・助詞を中心に文法事項への理解を深め、古文の内容を正確に把握する力を養う。 ・古典常識についての理解を深める。 ・本文の表現上の工夫を理解し、それに倣った表現を用いて文章を書く。 ・日記に描かれた平安時代の旅の様子や登場する人々の心情を理解する。	○	○	・全文を正しく音読している。 ・重要古語の意味を理解している。 ・助動詞「る」「り」「まし」、「なり」「ぬ」「せ」の識別、呼応の副詞などについて、基本的な文法事項を理解している。 ・知月の異名、時刻の表し方、門出や方違への習慣など、古典常識について理解している。 ・紀貫之と「土佐日記」について、文学史的知識を身につけている。 ・脚注を参照しながら、本文を正確に現代語訳している。 ・諧謔・麗化・対比などの表現に注意しながら、内容を正確に読み取っている。 ・旅立ちにあたっての事の次第や女性仮託の理由を理解したうえで、その特色を活かした表現で自分の身の回りの出来事を書いている。 ・範読を参考にして、積極的に音読している。 ・重要古語の意味を、古語辞典を用いて調べている。 ・紀貫之と「土佐日記」について、文学史の事項を調べたり発表したりしている。 ・古典に関する知識について関心を持って調べ、本文に表現された世界を深く理解しようとしている。	○	○	○	7
9. 近代の短歌・俳句 【知識及び技能】 我が国の言語文化に特徴的な語句・語彙の文化的背景を理解し、語感を磨き語彙を豊かにする我が国の言語文化の特質について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 近代を代表する歌人・俳人の作品を味わい、表現技法などを理解する。短歌俳句を作り、近現代の詩歌に親しむ。 【学びに向かう力、人間性等】 短歌・俳句の形式や表現を進んで読み味わう。	・短歌の基本的な読み方を習得する。 ・繰り返し音読して短歌に親しみ、リズムや叙情を味わう。 ・短詩型文学固有の表現の特質を理解する。 ・作品に詠まれている自然や人生、生活を味わい、自然や人間を見る目を養い、感性や想像力を豊かにする。 ・表現技法や書写の能力を生かして、効果的に短歌を書き表す。 ・俳句の基本的な読み方を習得する。 ・繰り返し音読して俳句に親しみ、リズムや叙情を味わう。 ・短詩型文学固有の表現の特質を理解する。 ・作品に詠まれている自然や人生、生活を味わい、自然や人間を見る目を養い、感性や想像力を豊かにする。	○	○	・各歌・俳句を正しく音読している。 ・短歌・俳句のリズムとその効果について理解している。 ・短歌・俳句の表現技巧を理解している。 ・近代の短歌史俳句史や作者について、基本的な知識を持っている。 ・各作者の文学に対する考え方、主張、個性を、作品の言葉を通して理解している。 ・句切れ、句跨り、分かち書きなど、短歌の表現技巧の効果を理解している。 ・表現に即して、各歌に詠まれた情景や心情を的確に捉えている。 ・季語、切れ字、取り合わせ、擬人法など、俳句の表現技巧の効果を理解している。 ・歌における多様な表現技法を理解し、その効果を生かした短歌を作ることができる。また、それを効果的に短冊に書き表すことができる ・本文中の難解な語句や表現を、国語辞典などを用いて調べている。 ・繰り返し音読し、作品のリズムやイメージを味わっている。 ・各句の季語について、「歳時記」で調べている。 ・近代の俳句史や各句の作者に関心を持ち、調べている。	○	○	○	5
10. 鶏鳴狗盗 【知識及び技能】 漢文を読むための基礎知識を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 古典特有の世界観に慣れるとともに、千年以上前に作られた物語が現代まで継承されていることを知る。 【学びに向かう力、人間性等】 返り点や書き下し文の決まりに則って、漢文を書き下し文に改める練習を繰り返し行っている。	・音読を繰り返して長文の漢文に慣れる。 ・登場人物の行動に注意しながら内容を正確に読み取り、人間を生き生きと描いた史伝の魅力を味わう。 ・「鶏鳴狗盗」という言葉の意味と由来を理解する。 ・漢文の史伝と日本の古典文学との関連について理解を深める。 ・舞台となる春秋時代について理解を深め、史伝に描かれた古代中国の人々の生き方について考察する。	○		・漢文に特有の語や、受身形・使役形・願望形などの基本的な句形について、その読みと意味を理解している。 ・「鶏鳴狗盗」という言葉の意味と由来を理解している。 ・春秋時代の状況について概要を理解している。 ・漢字の読みや訓読の決まりに注意して、正しく訓読している。 ・脚注を参照しながら、本文を正確に現代語訳している。 ・冒頭部分から人物関係と孟嘗君の名声の内容を読み取っている。 ・孟嘗君が窮地に陥った経緯と、窮地から抜け出す際の「食客」たちの働きを的確に捉えている。 ・孟嘗君が多くの「食客」を養っていた理由について、時代背景を踏まえて理解している。 ・脚注を参考にして、積極的に音読している。 ・本文中の語句の意味を漢和辞典を用いて調べている。 ・本文中に登場する地名について、地図で位置を確認している。 ・「鶏鳴狗盗」に関連する和歌を「小倉百人一首」の中から探し、その関わりを積極的に考えている。	○	○	○	5
定期考査					○	○	○	

松が谷 高等学校 令和6年度（2 学年用） 教科 国語 科目 古典探究
 教科：国語 科目：古典探究 単位数：3 単位
 対象学年組：第 2 学年 1 組～ 9 組
 教科担当者：（1 組 山口）（2 組 宮田）（3 組 宮田）（4・5 組 山口）（6 組 小森）（7・8・9・組 山口・小森）
 使用教科書：（「探求 古典探究」（桐原書店））
 教科 国語 の目標：
 【知識及び技能】生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。
 【思考力、判断力、表現力等】生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。
 【学びに向かう力、人間性等】言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚を

科目 古典探究	の目標：
【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通した先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
			話・劇	書	読					
1 学 期	1.「勘解由小路の地蔵」沙石集 【知識及び技能】 語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 文法を確実に学び、語感を養う。 【思考力・判断力・表現力等】 場面の描写や人物の心情、古典世界の考え方を把握する。 【学びに向かう力・人間性】 内容や構成、説話のおもしろさに触れ、	・語句や文法を的確に押さえる。 ・説話を読み、話のおもしろさを理解する。 ・話の構成や展開を把握し、登場人物の行動や心理を押さえる。 ・説話文学の一ジャンルである仏教説話の特質を捉える。	○		○	・本文に用いられている語句の意味や用法について、辞書や参考文献を積極的に参照しながら理解している。 ・本文を読むために必要な文語のきまりについて理解を深め、その知識を活用している。 ・説話という文章の種類を踏まえ、その特徴を理解しながら、構成や展開などを的確に捉えている。 ・物語の内容や解釈を自分の知見と結び付け、考えを広げたり深めたりしたうえで、それらを的確にまとめている。 ・この説話から考えられる仏教のあり方について話し合い、自分の考えを深めるとともに、話し合いを経て考えたことを的確にまとめようとしている。	○	○	○	6
	2.「家居のつきづきしく」 3.「ある者、子を法師になして」 徒然草 【知識及び技能】 語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 文法を確実に学び、語感を養う。 【思考力・判断力・表現力等】 観念性・抽象性の高い文章の内容を構成や展開に即して的確に捉え、作品が書かれた時代背景を理解する。 【学びに向かう力・人間性】 和文体・和漢混淆文体・説話体の文体の違いを理解し、優れた表現を味わう。	・語句や文法を的確に押さえる。 ・話の構成や展開を把握し、登場人物の行動や心理を押さえる。 ・説話文学の一ジャンルである歌徳説話の特質を捉える。 ・本文に表されている作者の考えを捉える。	○		○	・和歌の修辞法について理解を深め、その知識を活用している。 ・本文を読むために必要な文語のきまりについて理解を深め、その知識を活用している。 ・説話という文章の種類を踏まえ、その特徴を理解しながら、構成や展開などを的確に捉えている。 ・作者の意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について正確に捉えたうえでの的確に評価している。 ・源義家について様々な参考資料等を積極的に参照しながら理解を深め、自分の考えをわかりやすくまとめようとしている。	○	○	○	8
	4.「画竜点睛」故事・寓話 【知識及び技能】 語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 文法（句法・語法）を確実に学び、語感を養う。 【思考力・判断力・表現力等】 場面の描写や人物の心情、古典世界の考え方を把握する。 【学びに向かう力・人間性】 故事や寓話に込められた古代中国人のものの見方・考え方を味わう。	・語句や句法・語法を的確に押さえる。 ・比較的に短い文章を読み、漢文を読む楽しさを味わう。 ・「画竜点睛」という言葉の意味と由来を理解する。 ・故事や寓話に込められた古代中国人のものの見方・考え方を味わう。	○		○	・本文に用いられている語句の意味や用法について、辞書や参考文献を積極的に参照しながら理解している。 ・故事成語という文章の種類とその特徴について理解を深め、その知識を活用している。 ・故事成語という文章の種類を踏まえ、その特徴を理解しながら、構成や展開などを的確に捉えている。 ・故事成語という文章の種類についてよく理解し、その特徴を踏まえるとともに、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。 ・本文内容の正しい理解や周囲の意見、参考資料などを踏まえて、「画竜点睛を欠く」の意味について多角的に考え、自分の考えをわかりやすくまとめようとしている。	○	○	○	4
	定期考査						○	○	○	1

2 学 期	5. 「杞憂」 故事	・ 語句や句法・語法を的確に押さえる。 ・ 比較的短い文章を読み、漢文を読む楽しみを味わう。 ・ 「杞憂」という言葉の意味と由来を理解する。 ・ 故事や寓話に込められた古代中国人のものの見方・考え方を味わう。	○	○	・ 本文に用いられている語句の意味や用法について、辞書や参考文献を積極的に参照しながら理解している。 ・ 本文を読むために必要な訓読のきまりについて理解を深め、その知識を活用している。 ・ 故事成語という文章の種類を踏まえ、その特徴を理解しながら、構成や展開などを的確に捉えている。 ・ 「杞憂」に表れているものの見方、感じ方、考え方を考えを広げたり深めたりしたうえで、それらを踏まえ、人間、社会、自然などに対する自分の的確にまとめている。 ・ 本文の内容を踏まえて現代においての「杞憂」について話し合い、自分の考えを深めるとともに、話し合いを経て考えたことを的確にまとめようとしている。	○	○	○	5
	定期考査					○	○	○	1
	6. 「行く川の流れ」 「安元の大火・治承のつじ風」 方丈記	・ 語句や文法を的確に押さえる。 ・ 随筆を読んで、人間・社会などに対する作者の思想や感情を読み取る。 ・ 観念性・抽象性の高い文章の内容を構成や展開に即して的確に捉える。 ・ 作品が書かれた時代背景を理解する。 ・ 和漢混淆文の美しい文体を理解し、冒頭部分については暗唱する。	○	○	・ 本文に用いられている語句の意味や用法について、辞書や参考文献を積極的に参照しながら理解している。 ・ 暗唱を通して、本文を読むために必要な文語のきまりについて理解を深め、その知識を活用している。 ・ 作者の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について正確に捉えたうえでの的確に評価している。 ・ 「行く川の流れ」を多面的・多角的な視点から評価することを通して、我が国の言語文化について自分の考えを広げたり深めたりし、その内容を的確にまとめている。	○	○	○	13
	7. 「初冠」伊勢物語	・ 語句や文法を的確に押さえる。 ・ 歌物語を読んで、平安時代の物語文学に親しむ。 ・ 話の構成や展開を把握し、登場人物の行動や心理を押さえる。 ・ 歌物語における和歌の役割を理解する。	○	○	・ 歌物語という文章の種類とその特徴について理解を深め、その知識を活用している。 ・ 「伊勢物語」を読むことを通して、和歌の伝統など我が国の文化の特質について理解を深め、その知識を活用している。 ・ 歌物語という文章の種類を踏まえ、その特徴を考慮したうえで、構成や展開などを的確に捉えている。 ・ 作者の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について正確に捉えたうえでの的確に評価している。 ・ 本文内容の正しい理解や周囲の意見、参考資料などを踏まえて、登場人物の心情や作者の意図を多角的に考え、自分の考えをわかりやすくまとめたり周囲と意見を交換したりしようとしている。	○	○	○	6
2 学 期	8. 「春夜宴桃李園序」	・ 語句や句法・語法を的確に押さえる。 ・ 名文と呼ばれる文章を読み、作者のものの見方や考え方を理解する。 ・ 駢儷文の持つ表現の華麗さを味わう。 ・ 繰り返し音読し、文章の構成には音律が深く関わっていることを理解する。 ・ この文章が日本文学に与えた影響について知る。	○	○	・ 本文に用いられている語句の意味や用法について、辞書や参考文献を積極的に参照しながら理解している。 ・ 本文を読むために必要な訓読のきまりについて理解を深め、その知識を活用している。 ・ 駢儷文という文章の種類とその特徴について理解を深め、その知識を活用している。 ・ 言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解を深め、その知識を活用している。 ・ 駢儷文を多面的・多角的な視点から評価することを通して、我が国の言語文化について自分の考えを広げたり深めている。 ・ 駢儷文と日本の古文について、様々な参考資料等を積極的に参照しながら理解を深めようとしている。	○	○	○	7
	定期考査					○	○	○	1

3 学 期	9. 「光源氏の誕生」「若紫」源氏物語 【知識及び技能】 語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 文法を確実に学び、語感を養う。 【思考力・判断力・表現力等】 長編物語を読んで、登場人物の行動や心情を話の展開に即して読み取る。 敬語について、その種類や敬意の対象を正確に捉え、現代語訳に反映させる。 【学びに向かう力・人間性】 「源氏物語」の構成や内容について関心を持つ。	・語句や文法を的確に押さえる。 ・長編物語を読んで、登場人物の行動や心情を話の展開に即して読み取る。 ・「源氏物語」の構成や内容について関心を持つ。 ・敬語について、その種類や敬意の対象を正確に捉え、現代語訳に反映させる。	○	○	○	・本文に用いられている語句の意味や用法について、辞書や参考文献を積極的に参照しながら理解している。 ・助動詞や敬語、和歌の修辭など、本文を読むために必要な文語のきまりについて理解を深め、その知識を活用している。 ・「源氏物語」の構成についてよく理解し、その特徴を踏まえるとともに、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。 ・表現上の特色や内容についての解釈を自分の知見と結び付け、考えを広げたり深めたりしたうえで、それらを的確にまとめている。 ・内容の正しい理解や周囲の意見、参考資料などを踏まえて、「源氏物語」の表現上の特徴について多角的に考え、自分の考えをわかりやすくまとめたり周囲と意見を交換したりしようとしている。	○	○	○	18
	10. 「沛公、項王に見ゆ」鴻門之会 【知識及び技能】 語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 【思考力・判断力・表現力等】 長めの文章を読むことによって訓読の方法に習熟し、漢文の読解力を高める。 本文中の比喩的な表現について、その意味と効果を理解する。 【学びに向かう力・人間性】 歴史に残る名場面を迫力ある表現で描いた史伝の魅力を味わう。	・語句や句法・語法を的確に押さえる。 ・歴史に残る名場面を迫力ある表現で描いた史伝の魅力を味わう。 ・長めの文章を読むことによって訓読の方法に習熟し、漢文の読解力を高める。 ・本文中の比喩的な表現について、その意味と効果を理解する。 ・秦の始皇帝死去後の漢楚の抗争の歴史について理解する。 ・中国の歴史叙述の基本形である紀伝体のスタイルについて理解する。	○		○	・文の成分の順序や照応、文章の構成や展開の仕方について理解を深め、その知識を活用している。 ・先人のものの見方、感じ方、考え方について、現代との違いや現代における影響などを考えながら親しみ、自分のものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。 ・史伝という文章の種類を踏まえ、その特徴を理解しながら、構成や展開などを的確に捉えている。 ・作者の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について正確に捉えたうえでの的確に評価している。 ・比喩的な表現の知識を活用して課題に取り組み、より正確な知識の定着を図ろうとしている。	○	○	○	8
	定期考査						○	○	○	1
	11. 「樊噲、頭髮上指」「臣死すらず且つ避けず」鴻門之会 【知識及び技能】 語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 【思考力・判断力・表現力等】 長めの文章を読むことによって訓読の方法に習熟し、漢文の読解力を高める。 本文中の比喩的な表現について、その意味と効果を理解する。 【学びに向かう力・人間性】 歴史に残る名場面を迫力ある表現で描いた史伝の魅力を味わう。	・語句や句法・語法を的確に押さえる。 ・歴史に残る名場面を迫力ある表現で描いた史伝の魅力を味わう。 ・長めの文章を読むことによって訓読の方法に習熟し、漢文の読解力を高める。 ・本文中の比喩的な表現について、その意味と効果を理解する。 ・秦の始皇帝死去後の漢楚の抗争の歴史について理解する。 ・中国の歴史叙述の基本形である紀伝体のスタイルについて理解する。	○		○	・文の成分の順序や照応、文章の構成や展開の仕方について理解を深め、その知識を活用している。 ・先人のものの見方、感じ方、考え方について、現代との違いや現代における影響などを考えながら親しみ、自分のものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。 ・史伝という文章の種類を踏まえ、その特徴を理解しながら、構成や展開などを的確に捉えている。 ・作者の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について正確に捉えたうえでの的確に評価している。 ・比喩的な表現の知識を活用して課題に取り組み、より正確な知識の定着を図ろうとしている。	○	○	○	10
3 学 期	12. 「和歌」 【知識及び技能】 語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 文法を確実に学ぶとともに、修辭による表現を味わい語感を養う。 【思考力・判断力・表現力等】 各歌が作者のどのような意識のもとに作り上げられているかを理解する。 【学びに向かう力・人間性】 和歌の優れた表現に親しむ。	・語句や文法を的確に押さえる。 ・繰り返し音読し、和歌の調べの美しさを味わう。 ・和歌の優れた表現に親しむ。 ・和歌の修辭技巧を理解する。 ・各歌が作者のどのような意識のもとに作り上げられているかを理解する。 ・著名歌人についての文学史的知識を持つ。	○		○	・本文中の難解な語句や表現を国語辞典などを用いて調べている。 ・和歌の修辭法について理解を深め、その知識を活用している。 ・和歌を読むことを通して、我が国の文化の特質について理解を深め、その知識を活用している。 ・関心をもった事柄に関連する様々な文章や和歌などを積極的に読み比べ、そこから自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、その内容を的確にまとめている。 ・興味を持った和歌の作者について、他の作品や表現の特徴、文学史的な位置付け等を、様々な参考資料等を参照しながら積極的に理解を深めようとしている。				8

13. 「論語」	・語句や句法・語法を的確に押さえる。 ・「論語」の読解を通して、人間や社会のあり方に対する儒家の主張の概要を理解する。 ・「論語」の文章の特色を理解して読み味わう。 ・孔子の思想が現代においてどのような意義を持つか考察する。	○	○	・思想という文章の種類とその特徴について理解を深め、その知識を活用している。 ・「論語」を読むことを通して、我が国の文化の特質や、我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深め、その知識を活用している。 ・思想という文章の種類についてよく理解し、その特徴を踏まえるとともに、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。 ・「論語」の内容や解釈を自分の知見と結び付け、考えを広げたり深めたりしたうえで、それらを的確にまとめている。 ・本文内容の正しい理解や周囲の意見、参考資料などを踏まえて、人物像について多角的に考え、自分の考えをわかりやすくまとめようとしている。	○	○	○	7
定期考査					○	○	○	1
								合計
								105

松が谷 高等学校 令和6年度（2学年用） 教科 国語 科目 論理国語

教科：国語 科目：論理国語 単位数：2 単位
 対象学年組：第2学年 1組～9組
 教科担当者：（1組 小森）（2組 山口）（3組 山口）（4組 小森）（5組 山口）（6組 宮田）（7組 宮田）（8組 宮田）（9組 宮田）
 使用教科書：（「探求 論理国語」（桐原書店））
 教科 国語 の目標：

【知識及び技能】生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。

【学びに向かう力、人間性等】言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

科目 論理国語	の目標：
【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】
実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。	論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
【学びに向かう力、人間性等】	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域 話・聞書・読		評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	1.「チンパンジーは『おせっかい』をしない」長谷川 眞理子 【知識及び技能】 語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 【思考力・判断力・表現力等】 内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 【学びに向かう力・人間性】 「共感」という観点から他者との関わり大切さを理解する。	・常用漢字を文や文章ので活用する。 ・評論の基本的な読み方を習得する。 ・二項対立による比較対照に着目し、筆者の主張を的確に捉える。 ・ヒトの「認知的共感」が社会にもたらす意義について、自分の考えをまとめる。	○	○	・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句を習得し、文章の中で積極的に正しく活用している。 ・情報を重要度や抽象度などによって階層化して整理する方法について十分に理解し、さまざまな場面で応用して使っている。 ・評論という文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしなが要旨を正確に把握している。 ・ヒトの社会性と「共感」について、文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結び付けて、新たな観点から自分の考えを深め再構成している。 ・本文の内容を踏まえて「共感」という感情の意義について話し合い、自分の考えを深めるとともに話し合いを経て考えたことを的確にまとめようとしている。	○	○	○	5
	2.「いのちは誰のものか?」鷺田 清一 【知識及び技能】 語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 【思考力・判断力・表現力等】 内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 【学びに向かう力・人間性】 ヒトの「認知的共感」が社会にもたらす意義について、自分の考えをまとめる。	・常用漢字を文や文章ので活用する。 ・評論の読み方を習得する。 ・論理展開が明確な評論文の読解を通して、論理展開を丁寧にたどる姿勢と力を養う。 ・「ともに生きる」ことについて、自分自身のあり方も踏まえて理解を深める。	○	○	・効果的な段落の構造や論の形式など、文章の構成や展開の仕方について理解を深め、積極的に活用している。 ・主張とその前提や反証など情報と情報との関係について理解を深め、自らの主張に積極的に取り入れている。 ・内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしなが要旨を正確に把握している。 ・関連する文章を基に、書き手の立場や目的を考えながら、内容の解釈を多角的に深めている。 ・本文の内容を踏まえて「いのちは誰のものか」について話し合い、自分の考えを深めるとともに、話し合いを経て考えたことを的確にまとめようとしている。	○	○	○	4
	定期考査					○	○	○	1
	3.「変身に伴う快楽と恐れ―「山月記」を通じて―」宮原浩二郎 【知識及び技能】 語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 【思考力・判断力・表現力等】 内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 【学びに向かう力・人間性】 物語の虚構性に仮託されたテーマから、「変身」における要素を実社会において探究し、考えを深める。	・常用漢字を文や文章ので活用する。 ・評論の読み方を習得する。 ・対立する考えに着目し、筆者の主張を的確に捉える。 ・「変身」という話題を通して、死への恐怖、再生の喜びを感じる人の心のあり方について自分の考えを深める。	○	○	○	・本文中の難解な語句や表現を国語辞典などを用いて調べている。 ・文章中に登場する小説作品に共通する主題を理解し、筆者の考え方を的確に捉えている。 ・本文の内容を参考に「変身」に対する他人の考え方や自分自身の意見を、自分なりに考え文章にまとめ、発表することができる。	○	○	○

2 学 期	4. 「行動としての話し言葉」 竹内敏晴 【知識及び技能】 語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 【思考力・判断力・表現力等】 内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 【学びに向かう力・人間性】 行動としての話し言葉という意味を捉え、自分自身の話し言葉を充実させる。	・常用漢字を文や文章ので活用する。 ・評論の読み方を習得する。 ・文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解する。 ・言語の働きについて、文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結び付けて、新たな観点から自分の考えを深める。 ・本文内容の正しい理解を踏まえて、つうの台詞に込められた思いや意志についての自分の解釈をまとめる。	○	○	・文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について十分に理解し、工夫を凝らして活用している。 ・効果的な段落の構造や論の形式など、文章の構成や展開の仕方について理解を深め、積極的に活用している。 ・書き手の立場や目的を考えながら、内容の解釈を多角的に深めている。 ・言語の働きについて、文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結び付けて、新たな観点から自分の考えを深め再構成している。 ・本文内容の正しい理解を踏まえて、つうの台詞に込められた思いや意志についての自分の解釈を、わかりやすく丁寧にまとめようとしている。	○	○	○	7
	定期考査					○	○	○	1
	5. 「淋しい人間 ―『ころろ』を通じて」 山崎正和 【知識及び技能】 語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 【思考力・判断力・表現力等】 二項対立による比較対照に着目し、評論の基本的な読み方を習得する。 【学びに向かう力・人間性】 日本人と規範の関係についての筆者の考えを読み取り、自らの問題として考える。	・常用漢字を文や文章ので活用する。 ・評論の読み方を習得する。 ・論理の展開に着目して、筆者の主張を的確に捉える。 ・本文で取り上げられている作品（「ころろ」）を通して「エゴイズム」「近代的自我」といった作品の主題に触れながら文学作品としての主題の深さを読み解く。 ・多角的に作品を評価する態度を養う。	○	○	・本文中の難解な語句や表現を国語辞典などを用いて調べている。 ・文章中に登場する小説作品に共通する主題を理解し、筆者の考え方を的確に捉えている。 ・本文の内容を参考に「近代的自我」に対する他人の考え方や自分自身の意見を、自分なりに考え文章にまとめ、発表することができる。	○	○	○	7
2 学 期	6. 「イスラム感覚」 藤原新也 【知識及び技能】 語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 【思考力・判断力・表現力等】 二項対立による比較対照に着目し、評論の基本的な読み方を習得する。 【学びに向かう力・人間性】 日本人と規範の関係についての筆者の考えを読み取り、自らの問題として考える。	・常用漢字を文や文章ので活用する。 ・二項対立による比較対照に着目し、評論の基本的な読み方を習得する。 ・日本人と規範の関係についての筆者の考えを読み取り、自らの問題として考える。 ・世界の言語や文字に対して関心を持つ。	○	○	・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句を習得し、文章の中で積極的に活用している。 ・効果的な段落の構造や論の形式など、文章の構成や展開の仕方について理解を深め、積極的に活用している。 ・主張を支える根拠や結論を導く論拠を批判的に検討し、文章の妥当性や信頼性を吟味して、内容を正しく解釈し、考察している。 ・日本人と軌範の関係について、多様な論点や異なる価値観と結び付けて、新たな観点から自分の考えを深め、再構成している。 ・「ニッポン人は今、軌範や律という人間が生きていくうえで不可欠な超自我的なものを失って、右往左往している」という筆者の考えについて話し合い、自分の考えを深めるとともに、話し合いを経て考えたことを的確にまとめようとしている。	○	○	○	5
	定期考査					○	○	○	1
	7. 「芸術も科学も『別世界』を見せる」 岡田暁生 【知識及び技能】 語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 【思考力・判断力・表現力等】 本文中の対比関係に注目して、論理構造や筆者の主要な見解をつかむ。 【学びに向かう力・人間性】 「芸術」と「科学」のもつ魔術性について理解を深める。	・常用漢字を文や文章ので活用する。 ・評論の読み方を習得する。 ・本文中の対比関係に注目して、論理構造や筆者の考え、見解をつかむ。 ・「芸術」と「科学」というテーマについて、筆者の主張を読み取ったうえで、自分の考えを深める。	○	○	・本文中の難解な語句や表現を国語辞典などを用いて調べている。 ・文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について十分に理解し、工夫を凝らして活用している。 ・情報の妥当性や信頼性を吟味しながら、自分の立場や論点を明確にして、主張を支える適切な根拠を確実にそろえている。 ・主張とその前提や反証など情報と情報との関係について理解を深め、自らの主張に積極的に取り入れている。 ・多面的・多角的な視点から自分の考えを見直したり、根拠や論拠の吟味を重ねたりして、主張を明確にし、自分の考えを確固なものとしている。 ・本文内容の正しい理解を踏まえて、最先端の科学技術についての情報を多角的に収集し、読み手を意識しながらわかりやすく丁寧にレポートにまとめようとしている。	○	○	○	8

	8. 「ロボットは心を持つか」 黒崎政男 【参考】「そもそも心とは何か」 石黒浩 【知識及び技能】 語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 【思考力・判断力・表現力等】 「ロボットの心」についての研究が、「心とは何か」という哲学的な問題に直結するという筆者の主要な見解を理解する。 【学びに向かう力・人間性】 「そもそも心とは何か」について、自分なりの考えをまとめる。 定期考査	・常用漢字を文や文章の中で活用する。 ・評論の読み方を習得する。 ・「ロボットの心」についての研究が、「心とは何か」という哲学的な問題に直結するという筆者の主要な見解を理解する。 ・「そもそも心とは何か」を詠み、「心とは何か」ということについて自分なりの考えをまとめる。	○	○			・本文中の難解な語句や表現を国語辞典などを用いて調べている。 ・主張とその前提や反証など情報と情報との関係について理解を深め、自らの主張に積極的に取り入れている。 ・主張を支える根拠や結論を導く論拠を批判的に検討し、文章の妥当性や信頼性を吟味して、内容を正しく解釈し、考察している。 ・設定した題材に関する複数の文章や資料を基に、必要な情報を適切に関連付けて、自分の考えを広げたり深めたりし、発展させている。 ・本文の内容を踏まえて「心とは何か」について話し合い、自分の考えを深めるとともに、話し合いを経て考えたことを的確にまとめようとしている。	○	○	○	8	
								○	○	○	1	
3 学 期	7. 「暴力はどこからきたか」 山極寿一 【知識及び技能】 語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 【思考力・判断力・表現力等】 文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、文章の構成や論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 【学びに向かう力・人間性】 筆者の主張を読み取り、戦争や暴力を抑止する手段を考える。	・常用漢字を文や文章の中で活用する。 ・評論の読み方を習得する。 ・共同体の発展と暴力との関係性を認識する。 ・「人の生」に対する筆者の意見を踏まえ、生きることの意味について考える。 ・筆者の主張を読み取り、戦争や暴力を抑止する手段を考える。	○	○			・本文中の難解な語句や表現を国語辞典などを用いて調べている。 ・効果的な段落の構造や論の形式など、文章の構成や展開の仕方について理解を深め、積極的に活用している。 ・内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしなが重要を正確に把握している。 ・人類が苛烈な戦争を起こすようになった原因について、多様な論点や異なる価値観と結び付けて、新たな観点から自分の考えを深め再構成している。 ・本文の内容を踏まえて、現代における社会や共同体と私たちはどのように関わっていけばよいか、話し合い、自分の考えを深めるとともに、話し合いを経て考えたことを的確にまとめようとしている。	○	○	○	8	
	8. 「キャラクターの身体、自動車の身体」 三宅陽一郎 【知識及び技能】 語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 【思考力・判断力・表現力等】 文章に含まれている情報を整理しながら、順序だてて説明する文章の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 【学びに向かう力・人間性】 本文の内容を踏まえたうえで、人工知能と身体の関係について考える。	・常用漢字を文や文章の中で活用する。 ・説明文の基本的な読み方を習得する。 ・受動と主体という二重性こそが、生物の身体の本質的な特徴であるという筆者の主要な見解をつかむ。 ・人工知能と身体の関係について考える。	○	○			・本文中の難解な語句や表現を国語辞典などを用いて調べている。 ・文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について十分に理解し、工夫を凝らして活用している。 ・多面的・多角的な視点から自分の考えを見直したり、根拠や論拠の吟味を重ねたりして、主張を明確にし、自分の考えを確かなものとしている。 ・本文の内容を踏まえて、自動運転車が実現した社会の利点と課題について、様々な参考資料等を積極的に参照しながら、八百字程度にわかりやすくまとめようとしている。				8	
									○	○	○	1
												合計
												70

松が谷 高等学校 令和6年度（3学年用） 教科 国語 科目 文学国語

教科：国語 科目：文学国語 単位数：2 単位
 対象学年組：第3学年 1組～8組
 教科担当者：（1組）（2組）（3組）（4組）（5組）（6組）（7組）（8組）
 使用教科書：（「探求 文学国語」（桐原書店））

教科 国語 の目標：
 【知識及び技能】生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。
 【思考力、判断力、表現力等】生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。
 【学びに向かう力、人間性等】言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚を
 科目 文学国語 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。	論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
			話・ 聞	書	読					
1 学 期	1.「ランドセル」 角田 光代 【知識及び技能】 語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 小説の読み方を習得する。 【思考力・判断力・表現力等】 作者の心情に寄り添いながらも、客観的な視点を持ち、自分自身に引きつけてテーマを理解する。 【学びに向かう力・人間性】 登場人物の心情を把握することで、自分のものの見方、考え方などを振り返る機会とし、情緒を育む。	・常用漢字を文や文章ので活用する。 ・小説の基本的な読み方を習得する。 ・登場人物の心情を描写に沿って読み取る。 ・ものの見方、考え方を広めるために読書する姿勢を養う。	○		○	・情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を十分に増し、文章の中で適切に活用することを通して、語感を磨き語彙を豊かにする。 ・内容や解釈を適切に踏まえ、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を十分に深めている。 ・人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について十分に理解を深めており、積極的に読書を行っている。	○	○	○	5
	2.「途中下車」 宮本 輝 【知識及び技能】 語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 小説の読み方を習得する。 【思考力・判断力・表現力等】 場面の変化や時間の経過を捉え、物語の進行を的確に捉える。 【学びに向かう力・人間性】 行動と心情の理由を捉え、細やかな感情描写を読み味わう。	・常用漢字を文や文章ので活用する。 ・言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを十分に理解する。 ・人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について十分に理解を深め、積極的に読書する。 ・小説という文章の種類を踏まえて、その特徴を十分に理解し、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉える。 ・本教材やその他の作品を踏まえ、効果的に言葉を用いながら、工夫を凝らした書き換えを創作する。	○	○	○	・言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを十分に理解している。 ・人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について十分に理解を深めており、積極的に読書を行っている。 ・小説という文章の種類を踏まえて、その特徴を十分に理解し、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉えている。 ・本教材から学習したことやその他の作品を踏まえ、効果的に言葉を用いながら、工夫を凝らした書き換えを創作しようとしている。	○	○	○	5
	定期考査						○	○	○	1
	3.「永訣の朝」 宮沢 賢治 【知識及び技能】 語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 詩の読み方を習得する。 【思考力・判断力・表現力等】 表現上の特色を捉え、詩の言葉が持つ魅力を発見する。 対照的な語句群に注意して、作品全体の構成を的確に捉える。 【学びに向かう力・人間性】 名詩を読み、情緒を深める。	・詩の読み方を習得する。 ・言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解する。 ・文体の特徴や修辞などのさまざまな表現の技法について理解する。 ・詩の構成や展開、表現の仕方を踏まえ、解釈の多様性について考察を深める。 ・詩の内容を踏まえて発想の独特さについて話し合い、自分の考えを深めるとともに、話し合いを経て考えたことまとめる。	○	○	○	・言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを十分に理解している。 ・「永訣の朝」における文体の特徴や修辞などのさまざまな表現の技法について、体系的に理解している。 ・「永訣の朝」の構成や展開、表現の仕方を十分に踏まえ、解釈の多様性について考察を深めている。 ・言語の働きについて、文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結び付けて、新たな観点から自分の考えを深め再構成している。 ・詩の内容を踏まえてそれぞれの詩の発想の独特さについて話し合い、自分の考えを深めるとともに、話し合いを経て考えたことを的確にまとめようとしている。	○	○	○	1

	4. 「舞姫」 森 鷗外 【知識及び技能】 語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 小説の読み方に習熟する。 【思考力・判断力・表現力等】 擬古文を用いた近代小説を読み味わうことにより、小説の多様な表現形式に触れる。 【学びに向かう力・人間性】 作品の背景にある時代と文化の状況について理解を深める。	・常用漢字を文や文章ので活用する。 ・文体の特徴や修辞などのさまざまな表現の技法について理解する。 ・人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深め、積極的に読書を行う。 ・作品の背景にある時代と文化の状況について、当時の「家制度」や近代における「自由」について考察する。	○	○	○	・本文中の難解な語句や表現を国語辞典などを用いて調べている。 ・「舞姫」における文体の特徴や修辞などのさまざまな表現の技法について、体系的に理解し効果的に使用している。 ・人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について十分に理解を深めており、積極的に読書を行っている。 ・作品の背景にある時代と文化の状況について、当時の「家制度」や近代における「自由」について十分に理解した上で、適切に考察している。	○	○	○	13
	定期考査						○	○	○	1
2 学 期	5. 「もののふの心―言葉とコトバ」 若松 英輔 【知識及び技能】 語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 【思考力・判断力・表現力等】 内容や構成、論理の展開を的確に捉え、筆者の主張を読み取る。 【学びに向かう力・人間性】 周囲との話し合いの中で「コトバ」について多角的に考える。	・常用漢字を文や文章ので活用する。 ・「言葉」と「コトバ」のそれぞれの意味を正確に読み取り、文学についての論評であることを認識する。 ・対比構造を読み取りながら、筆者の主張を的確に捉える。 ・本文内容の正しい理解や周囲の意見、参考資料などを踏まえて、「コトバ」について多角的に考え、自分の考えをわかりやすくまとめる。	○	○	○	・本文中の難解な語句や表現を国語辞典などを用いて調べている。 ・「コトバ」やそれに関する文章の種類や特徴などについて十分に理解を深めている。 ・「コトバ」の内容や解釈を適切に踏まえ、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を十分に深めている。 ・本文内容の正しい理解や周囲の意見、参考資料などを踏まえて、「コトバ」について多角的に考え、自分の考えをわかりやすくまとめようとしている。	○	○	○	6
	6. 「愛のサーカス」 別役 実 【知識及び技能】 語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 小説の読み方に習熟する。 【思考力・判断力・表現力等】 物語の寓意的な結末について考察する。 物語の構構性について理解する。 【学びに向かう力・人間性】 物語の内容や構造について話し合い、理解を深める。	・常用漢字を文や文章ので活用する。 ・物語の寓意的な結末について考察し、さまざまな解釈の可能性を検討する。 ・物語の二重構構性について理解する。 ・日本人と規範の関係についての筆者の考えを読み取り、自らの問題として考える。 ・世界の言語や文字に対して関心を持つ。	○	○		・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句を習得し、文章の中で積極的に活用している。 ・言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。 ・人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について十分に理解を深めており、積極的に読書を行っている。 ・語り手の視点や場面の設定の仕方、表現の特色について細部にわたって評価することを通して、適切に内容を解釈している。 ・設定した題材に関連する多様な作品などを基に、自分のものの見方、感じ方、考え方を十分に深めている。 ・本文の内容を踏まえて二重構造について話し合い、自分の考えを深めるとともに、話し合いを経て考えたことを的確にまとめようとしている。	○	○	○	6
2 学 期	定期考査						○	○	○	1
	7. 「詩人のふるさと」 富岡 多恵子 【知識及び技能】 語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 【思考力・判断力・表現力等】 一人の詩人の芸術的葛藤について論じた評論を読み、表現という行為の本質について理解を深める。 【学びに向かう力・人間性】 周囲との話し合いの中で詩の改変について多角的に考える。	・常用漢字を文や文章ので活用する。 ・評論の読み方に習熟する。 ・ものの見方、感じ方、考え方を適切に捉えるとともに、作品が成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、作品の解釈を十分に深める。 ・多様な他の作品と比較するなどして、文体の特徴や効果について十分に考察を深めている。 ・引用されている犀星の詩を丁寧に読み、詩の鑑賞力を高める。 本文の内容を踏まえて詩の改変について話し合い、自分の考えを深めるとともに、話し合いを経て考えたことをまとめよる。	○	○		・本文中の難解な語句や表現を国語辞典などを用いて調べている。 ・「詩人のふるさと」やそれに関する文章の種類や特徴などについて十分に理解を深めている。 ・多様な他の作品と比較するなどして、文体の特徴や効果について十分に考察を深めている。 ・「詩人のふるさと」に表れているものの見方、感じ方、考え方を適切に捉えるとともに、作品が成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、作品の解釈を十分に深めている。 ・本文の内容を踏まえて詩の改変について話し合い、自分の考えを深めるとともに、話し合いを経て考えたことを的確にまとめようとしている。	○	○	○	7

	8. 「『サヨナラ』ダケガ人生ダ」 野崎 敏	・常用漢字を文や文章ので活用する。 ・評論の読み方に習熟する。 ・元の漢詩と井伏鱒二の翻訳とを読み比べ、味わいの違いとそれぞれの特徴を捉える。 ・外国文学を翻訳することの原則と可能性を理解する。	○	○	・本文中の難解な語句や表現を国語辞典などを用いて調べている。 ・人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について十分に理解を深めており、積極的に読書を行っている。 ・翻訳に表れているものの見方、感じ方、考え方を適切に捉えるとともに、作品が成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、作品の解釈を十分に深めている。 ・「『サヨナラ』ダケガ人生ダ」の内容や解釈を適切に踏まえ、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を十分に深めている。 ・本文の内容を踏まえて「翻訳情緒」について話し合い、自分の考えを深めるとともに、話し合いを経て考えたことを的確にまとめようとしている。	○	○	○	7	
	定期考査					○	○	○	1	
3 学期	9. 入試問題演習	・共通テストの過去問演習を通して、選択肢問題の適切な解答法に習熟する。 ・私立大学の過去問演習を通して、100字以下の記述問題の回答に慣れ、解答速度を向上させる。	○	○	○	・共通テストの過去問演習を通して、選択肢問題の適切な解答法に習熟することができる。 ・私立大学の過去問演習を通して、100字以下の記述問題の回答に慣れ、解答速度を向上させることができる。	○	○	○	16
										70